

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>ホームの理念を理解し職員間で共有し、理念を基に自らの目標を立て取り組んでいる。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>朝の朝礼、全体会議時に必ず理念の唱和をして理念を行って理念の浸透、理念の実現を目指している。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>理念は利用者様、ご家族が見やすい所に掲示し、わかりやすく説明している。町内会に入会し回覧板を利用し、ホームの周知を努めている。又、地域住民参加型行事を開催し地域の理解と連携に取り組んでいる。</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>町内のゴミ拾い、ゴミステーションの掃除を行う事で近所の方とのコミュニケーションを計り、近所の方から頂き物(庭に咲く花など)挨拶を交わし交流を深めている。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内で行われる寄席や花見などに参加し、回覧板にホーム便りなど地域の皆さんに関心、交流を深めている。、</p>		
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>定期的な会議の中で、地域参加等について話し合っています。</p>	○	<p>今尾の課題として地域の方と介護教室、勉強会を設け、更に地域一体化していきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>自己評価を行い各々振り返り見直し改善に向けているが外部評価を昨年出来ていない為取り組みたい。</p>	○	外部評価の実施、取り組む。
8	<p>○運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>運営推進委員会の取り組みを町内会を巻き込み入居者様、ご家族様と一緒に会費などに向けて取り組んでいる。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>市・道で行われている勉強会・講話などに参加し質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>成年後見制度を利用されているご入居者様がいる為、興味を持ち勉強会に参加しているがスタッフ全員が詳しく理解できていない。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p> <p>道内・市内で行われている講習会へ参加し、虐待の防止を徹底している。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約前より面談等で繰り返し質問、疑問を聴き取り、書類についてはわかりやすく説明し、納得を頂いた上で契約を行なっている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関にはご意見箱を用意し常に利用者様・ご家族様からのご意見を聞けるようにしている。尚、口頭でも伝えて頂ける環境をつくる努力をしている。</p>		
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>毎月、請求書発送時に共に預かい金明細、日々の生活を写した通信を同封し報告を行なっている。</p>		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご意見箱の設置と苦情対応者を設け掲示し、常に反映出来るようにしている。</p>		
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者はスタッフ会議の場や日常生活の中で常にスタッフとの対話の機会を設けその意見を運営者へ伝えて反映させるように努めている。</p>		
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>外出行事、利用者様の状態の変化により、対応するスタッフの人数が増す場合は管理者とスタッフで話し合いを持ちサポートする職員を確保している。</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>話す言葉には細心の注意を払い利用者に出るだけ影響を起こさないよう努めている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部研修・社内研修は積極的に参加し研修参加後は研修報告書を提出し、浸透し情報を共有している。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>外部研修に参加する事で同業者同士の交流・情報交換をし、お互いに発展していけるように努めている。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>外部者と接する機会や職員相互での親睦会を開催し、ストレスの解消を行っている。</p>	
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>外部研修の紹介、社内研修の企画、開催し積極的に学び続けていけるように調整し、参加できるように努めている。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご本人様とじっくり対話し、会話の中からアセスメントを取り、信頼関係を築き不安感を取り除く努力をしている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご家族様来訪時にコミュニケーションをとり、より良い信頼関係を築く努力をしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様・ご家族様から相談を受けた時は傾聴し、支援策を考え全員で取り組んでいる。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご利用される前にホームを見学して頂き実際のケアを体験していただいて、判断してもらい話し合い馴染みの関係を築いている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	入居者様と職員が共に人間的感情の中、共感しあい支えながら一緒に学んでいる。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様、ご本人様の思いを職員は中立に立ち、ご家族様とご本人様の思い職員は中立に立ちご家族様とご本人様の関係も上手くいくように配慮している。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご家族様との面談、面会、電話等で話し合いをし理解したうえでサポートし関係を築いている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様、ご友人などは馴染みの関係を大切に継続する為に自由に入出入りが出来る支援をし明るく笑顔を大切に来訪しやすい環境をつくるよう努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	お一人おひとりの性格、生活スタイルを把握しスタッフが寄り添いその方その方に合ったケアを行なっている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	契約(死去・退去)された後も出合いを大切に、その方、ご家族様に寄り添ってサポートしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中でご本人様の会話や悩み、相談を聴き取り親身になってケアに努めている。また、センター方式の活用によって全員が共有し検討している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居する前に面談や、前任の担当者の方より情報を頂きご家族様の協力も得て以前の状態、暮らし方を把握している。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	センター方式を活用しじっくりとアセスメントを取り、総合的に把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご家族様、本人様の意見を汲み取りケアスタッフ、介護支援専門員、医療関係者、各々の専門分野より提案、意見を出し介護計画を作成している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期的に評価し、異変があった場合は検討するように努めている。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	スタッフ全員がその方その方にあった記録用紙を使用し、利用者様の情報を共有し評価、計画を実施しケアに反映させている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	必要な時、場面時に訪問リハ、訪問看護の意見、ノウハウを利用できている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域の連携協力のひとつとして、近所の幼稚園の発表会、運動会を一緒に参加しご本人の活躍の場を広げ、満足感を得ようサポートして頂いている。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	行っていない。	○	現在ではご本人様、家族様の希望がなく利用していないが今後地域の認知症対応型のデイサービス等も提案し、活用できるように地域のケアマネジャー、事業所とも連携を強めて行きたい。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域推進委員会により徐々に関わりを増やしているが、協働が足りない。	○	今後の連携によりいっそう強めて行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	ご家族様、ご本人様に合った医療機関と関係を築き、適切に往診・受診を行っている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力機関として認知に詳しい医師との連携を築き、安心して受診できる環境を提供している。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	往診して下さっているクリニックの看護師、医療連携を図っている訪問看護の看護師と協力し医療の支援ができています。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入居様が入院された場合、スタッフがお見舞い、面会に伺い医療機関との情報交換し早期退院に向け取り組み連携がなされている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	重度化、終末ケアの対応について研修、勉強会を通し「看取りの指針」を製作しご家族様、医療機関との連携、理解を行なっています。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ご家族様、医療とのチームワークにより変化に応じた取り組み、出来る限りのケアをご本人様、ご家族様の望まれた最期を一緒に見つめています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	ご家族とスタッフが一体となってその方の立場、気持ちを酌みダメージを受けないように努力している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	個別の対応を重視し、記録記載時も個人の情報を他者の方には漏れないように配慮している。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	その方その方に合わせた選択の自由の場、物をつくり自己決定できる環境をつくるよう努めている。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個人様のペースに合わせて個別の空間、時間の配慮、その方のらしさをいかした過ごし方が出来るように支援している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	訪問理美容を使用しているが他の利美容に出る、きっかけが必要と思われる。	○	地域の理美容、好みの美容室が出来るように選択できる場をつくる努力をする。外に出るきっかけのひとつとし活気に繋げるように努力する。
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の形態、時間、好みの物、今できる事に注目しながら働きかけている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	温かい物、冷たい物、食べたいものの種類を豊富に揃え買い物と一緒に行き楽しい生活になるように努めている。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄パターンを把握し、出来るだけおむつの使用を減らし、なおかつ安心できる環境づくりを行っている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴の希望、楽しめる入浴が出来るように時間、場面の提供を行っている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	不眠がちな入居者様には内面的から寄り添い生活のリズムの見直し、調整と一緒に取り組み安らぐ効果のあるもの、飲み物、足湯、匂い等を試し支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	花の水撒き・畑の手入れ・牛乳瓶の片付けなど、各自出来る事を活かし違うことに取り組みむ力にしている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	本人の要望、希望を取り入れ一緒に買い物へ行ったりお金の使える場を提供し、活かし、支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	その場、その時に思い立った意欲を活かし、買い物、散策、外食が出来るように努めている。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	お一人おひとりの要望を、気持ちを汲み取り一緒に行くことで活発力になれる場所、ご家族様との絆を深められる様に支援していく。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話は何時でも使えるようになっており必要に応じてサポートし取次ぎを行なっている。手紙の投稿、代行を行っている。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも身近な方が遊びに来られるように丁寧な対応を心掛け、お茶を一緒に出すなど居心地の良い環境をつくる努力をしている。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体抑制、拘束については全スタッフが理解、学び、言葉の抑制にも注意を図り、心掛けている。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	夜間以外は全く鍵を掛けていない。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>常に安全で過ごせるように配慮し、ご本人様を尊重しながら所在の確認をし、見守っている。</p>		
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>お一人おひとりの能力を把握し出来るだけ本人の力を活かし、火器のみ職員が管理している。</p>		
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>事故報告書、ひやりはっとの記載は早急に取り組み、会社で事故防止委員会を設置し、事故防止に取り組んでいる。</p>		
<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>救急対応マニュアル化し、常時焦らずスムーズに対応できるよう、定期的に訓練を会社全体で取り組んでいる。</p>		
<p>○災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>定期的に避難訓練、消防署で開催される勉強会や訓練などに出席し、地域の方にも理解していただいている。</p>		
<p>○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。</p>	<p>家族が来訪された時や行事、家族会時に話し合いを行い、リスクについての話を言いその方その方の暮らしを守る対策を話している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日常の状態を把握し、異変を感じた場合は早急に対応(バイタルチェック)。医療機関連絡を取り、情報を密に取り合い誰もが共有できる状態にしている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	常時内服されている薬品の作用、副作用については把握し、症状に異変が見られた時は早急に医師との連携を取り、努めている。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	繊維質のあるもの又はヒット商品(にがり・きなこ等)の情報を活用し、食事にも取り入れております。また、医療機関との連携により運動療法、薬の調整、見直しは常に行なっています。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後は必ず口腔ケアを行い定期的に歯科衛生士さんの指導のもと、口腔ケアに取り組んでいる。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	入居者様と共に食事、外食をすることによって個人の食事量、不足部分、好みの把握を行い、水分の目安も付いています。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対してのマニュアルを用意し、その都度予防し対策を行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	毎日の消毒、漂白、食品のチェックをチェックシートに基づき行って管理しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関の周りは常に綺麗にし、雪かき・草むしり・ゴミ拾いを常時行い、畑・花プランターづくりなどに取り組み、環境を良くする努力をしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有空間は日々行いホーム周囲等の清掃は定期的確実に取り組むスケジュールを立て徹底している。季節を感じる装飾、広告等で工夫しています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	畳の空間、ソファの設置など工夫をしている。	○	リビングとダイニングが一緒のため、限られたスペースとなり今後更なる工夫を考えたい。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	以前使用されていたもので馴染みのあるものを出来るだけご家族様にも呼び掛け持っていていただき安心の感のある個人のお部屋にさせていただいてある。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	毎日、部屋の掃除換気は行うように取り組み、ご本人様に合わせた温度、環境整備を行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	廊下・トイレ・階段・浴室には手すりが設置され、バリアフリーにし、自立した生活が送れる様に工夫して配慮している。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	迷ったり、混乱をしたりしないように、個人様のお部屋入り口前には馴染みの物を飾ったり、その方その方の選ばれた「のれん」等で工夫している。		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	ホーム前庭にはベンチ、テーブル・日傘を置き、畑・プランターを活用し散歩、日光浴が楽しめる環境をつくる努力をしています。		

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	②利用者の2/3くらい
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	②利用者の2/3くらい
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	②利用者の2/3くらい
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼすべての家族と
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	②数日に1回程度

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>②少しずつ増えている</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>②利用者の2/3くらい</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>②家族等の2/3くらいが</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)